

【学校の教育目標】

たくましい 鷺山の子

思いやる心

考える力

じょうぶな体

【目指す学校像】：仲間と共に学び合い 成長しあえる学校

児童・保護者・地域との信頼関係を基盤とした開かれた学校

	思いやる心	考える力	じょうぶな体
	豊かな心で活動し、集団の中で生きる力を身につける	豊かに学び、確かな学力を身につける	規則正しく生活し、心と体を鍛える
中期目標	<ul style="list-style-type: none"> 自己を見つめ、人を思いやる心を育てる。 自ら判断し、自主的・実践的に取り組み、仲間と共によりよい生活を工夫していく力を育てる。 ふるさと鷺山に愛着と誇りをもち、夢をもって生活を創造する力を育てる。 「ぎふMIRAI's」の学びを生かす 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本を確実に身につけ「わかった」「できた」喜びを味わわせる。 主体的に学習に取り組み、自分の考えや疑問を明確にし、学び続けようとする意欲を育てる。 全教育活動を通して、言語表現力を高める。 「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活習慣を身につける。 「自分の命は自分で守る」という意識をもち、行動力を身につける。 生命の尊厳・生き方の探求学習を生かす どの子ども目標をもって主体的に体力づくりに取り組む。
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> いじめの疑いや兆しとなる事例について、全職員で共有し、指導のあり方を考え、共通行動ができるようにする。 全校の児童、教職員が仲間のよさを見つけ、認め合う方法を工夫し、自己肯定感を高める。 児童会を中心にした「四つ葉のクローバー活動」、掃除の取組を通して自治的能力を育成する。 地域と連携した活動に興味をもち、学校内外の活動に積極的に取り組む。 ボランティア活動を活発にし、自主的・自発的精神を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着をはかる。 毎時間の授業で「何ができるようになった」かをはっきりさせるまとめを工夫する。 自分の言葉で話したり自分の考えを書いたりする指導の充実をはかる。 深い学びにつながる小集団での交流活動等を工夫する。 タブレット端末を有効に活用し、主体的に学習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と連携して基本的な生活習慣を定着させる。 「ここタン」の活用を含め、教育相談活動を充実させ、安心して学校生活を送れるようにする。 自分の命、仲間の命を守る意識を向上させ、具体的な行動のしかたを身につける。 なかよし（業間休み）の時間、昼休みに体を動かしてたっぷり遊ぶ。
具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> 職員会や打ち合わせで児童交流の時間をもち、全職員で情報や対策を共有する。 いじめの疑いのある情報をキャッチしたら、いじめ事案の指導の流れにしたがって素早く動き出す。 全職員がいじめの疑いや兆しに敏感に対応できるように、打ち合わせ等で様々な事例を共有する。 かがやきみつけ（自分や仲間）を日常的に位置付け、タイムリーによさを認め合う。保護者にも伝えていく。 地域人材を積極的に活用した鷺山小学校版「ぎふMIRAI's」を確立する。 ボランティア活動を継続しておこない、他人の役に立てる喜びを味わわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞く、話すを大切に学習活動をおこなう。 単純な繰り返し学習、画一的なドリル学習ではなく、自分の疑問を明らかにしたりできなかった問題をやり直したりして、基礎学力を確実に身につける。 キーワードや合い言葉をヒントに、できるだけ自分の言葉で毎時間の授業のまとめができるようにする。 深い学びにつながる効果的な小集団での交流活動の形態や方法を工夫し、実践する。 ロイロノート等を積極的に活用し、子どもたちが主体的に学習活動に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムチェックを活用して、自分の生活を見つめ直す機会をもつ。 心のアンケートをもとに、教育相談を学期ごとに位置付ける。 本人や保護者の困り感に寄り添い、個に応じてよりよい解決方法を見いだすようにする。（ここタンの活用） 様々な想定をした命を守る訓練を計画的に実施し、その都度振り返ったり、対応のしかたを考えたりする。 なかよし（業間休み）に学級遊びを位置付け、担任も児童と一緒に遊ぶ。

児童・保護者・地域との信頼関係を基盤とした開かれた学校

- 学校と保護者、地域の願いや具体的な取組方策の共有、地域ぐるみのサポート体制の確立
 - ・タイムリーな情報発信
 - ・教育活動への参加、協力の働きかけ
- 計画的な学校評価PDCAサイクルの確立と適切な改善実施
 - ・自己評価 * 「児童」「保護者」「教職員」のアンケートによる評価
 - ・保護者からの「児童の成長」の聞き取りと成果の分析 * 自己評価の結果について

児童・保護者・地域に信頼される教師

- 児童のために職員間の協働、協調を大切にする教師
- 熱意と労務管理の両立できる教師
- 服務規律やコンプライアンスをはじめとした危機管理に対する高い見識と行動力を示す教師
- 自己課題の追究に向けて切磋琢磨する教師